令和８年 11 月 27 日

山形県立河北病院

報道関係者各位

訪問診療車の更新に向けたクラウドファンディングを実施します！

このたび、河北病院（山形県西村山郡河北町、院長：佐藤敏彦）では、訪問診療の体制強化を図るため、クラウドファンディングを実施し、寄附を募集しますので、広く周知くださるようお願いいたします。**【12 月１日（火）以降の報道を希望】**

記

１　実施期間　令和８年 12 月１日から令和９年１月 29 日まで

２　募集場所　クラウドファンディングサイト「READYFOR」

URL：https://readyfor.jp/projects/kahoku-hp

サイトはこちら▼

３　プロジェクト概要

・タイトル：地域医療と暮らしを支え続けるため、訪問診療車を更新したい

・目標金額：350 万円

・寄附金の使い道：訪問診療に使用する車両の更新

・プロジェクトの目的：

河北病院では、総合診療医が中心となり、病院から半径 16 ㎞圏内を対応エリアとして、通院が困難な患者さんに対し、自宅や施設を訪問して診療を行う訪問診療を実施しています。現在の車両は、荷室が狭く、積み込む資機材が限られるほか、老朽化も進んでいるため、より荷室の広い車両に更新し、訪問診療の体制強化を図ります。

【問合せ先】
山形県立河北病院医事経営相談課
医事経営主幹　増子
電話：0237-73-3131
【広報監】病院事業局長　髙梨

【参考】

■背景と課題

地域の急速な高齢化に伴い、訪問診療ニーズが高まる一方、現在稼働する車両は小型車1台のみです。1日100km走る日もあるなど老朽化が進み、搭載する医療資機材の増加で積載スペースも限界を迎えているため、車両の更新に向けて、クラウドファンディングに挑戦することにしました。

■当院の訪問診療

当院の訪問診療は、総合診療医を中心に、院内検査や入院対応、訪問診療、管理栄養士による訪問栄養指導まで行っております。

車両の更新により訪問診療の体制強化を図り、地域の皆様が住み慣れた場所で自分らしく暮らし続ける支援をしてまいります。

■山形県立河北病院について

昭和22年の発足、昭和24年の県移管以来、約80年にわたり西村山地域（寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町）の地域医療を担う中核病院です。令和6年度には「地域医療連携ステーション」を開設し、外来・入院から在宅医療までシームレスに繋ぐ体制づくりに注力しています。

■寄附に係る税制優遇について

本プロジェクトへのご寄附は、山形県病院事業局（山形県立河北病院）へのご寄附となり、所得税法第78条第2項第1号および法人税法第37条第3項第1号に規定される「国又は地方公共団体に対する寄附金」に該当し、確定申告を行うことで、個人の所得税の寄附金控除又は法人税の損金算入の対象になります。

※税制上の取扱いは、寄附者の個別事情により異なる場合があります。